



第 429 号
2024.7.1

発行・豊中歴史同好会
責任者 小川 滋
〒595-8504 大阪府豊中市榑野町西六丁目二丁目八
番五号 小川 滋 宛
電話 06-6544-0144

邪馬臺国への道のり

— 魏志倭人伝再読 —

皇學館大學研究開発推進センター教授 荊木 美行



今なぜ魏志倭人伝か

ただいま小川会長からご紹介にあずかり
ました皇學館大学の荊木でございます。今

年も、この会でお話しさせていただける機
会に恵まれたことを嬉しく存じます。

本日は、邪馬臺国の所在地について、魏
志倭人伝をどう読むかという話題を中心
にお話したいと思えます。最近、大学で
日本古代史を専攻する学生でも、魏志倭人
伝を読んだことがないという若者が珍しく
ありません。たしかに、魏志倭人伝の読解
は行き着くところまで行ったという感があ
り、今後新しい読み方や新解釈を提示する
ことはむづかしいと思えます。いわば手垢
にまみれた史料に、若い研究者が新鮮味を

邪馬臺国への道のり—魏志倭人伝再読—
荊木 美行
高槻市三島古墳群と新池遺跡(上)
—三島の埴輪ロードを歩く—
古高 邦子

感じないのもやむを得ません。しかも、最
近の邪馬臺国研究は、もっぱら考古学中心
で、その点でも文献である魏志倭人伝は疎
かにされがちです。
しかしながら、邪馬臺国に関する基本情
報が、魏志倭人伝にあることはなんびとも
否定できません。箸墓を卑弥呼の墓とみる
考古学者は少なくありませんが、そもそも
卑弥呼の墓が問題になるのも、卑弥呼が西
暦二四八年ごろ歿したことや、径百餘歩の
冢を作ったということが魏志倭人伝に記載
されているからです。ですから、いま一度
初心に返って、魏志倭人伝を丁寧に読み、
そこにはなにが書かれているかを知ってお
くことは、邪馬臺国を研究するうえでプラ
スにこそなれ、マイナスになるようなこと
はありません。